

## 第1回

# 新幹線基本計画路線全国総決起大会

## 大会記念誌



日時 2026年1月22日(木) 10:30～12:00

場所 都市センターホテル3階 コスモスホール

### 次 第

- |        |           |        |        |
|--------|-----------|--------|--------|
| 1 開会挨拶 | 2 主催者挨拶   | 3 来賓挨拶 | 4 来賓紹介 |
| 5 決議採択 | 6 ガンバロウ三唱 | 7 閉会   |        |

## 目 次

1. 開会挨拶	1
2. 主催者挨拶	2
3. 来賓挨拶	6
4. 来賓紹介	8
5. 各県知事挨拶	10
6. 共催者挨拶	12
大会決議・全国の新幹線鉄道計画等の状況	14

## 1.開会挨拶



大会発起人  
大分県知事 佐藤 樹一郎

大分県知事の佐藤樹一郎でございます。開会にあたり、大会の発起人として、一言ご挨拶を申し上げます。本日は全国各地から、500名を超える関係者の皆様にご出席を賜り、盛会となりましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、公務ご多忙の中、佐々木紀国土交通副大臣にも出席いただくとともに、石破茂先生、山本順三先生、森山裕先生をはじめ、国会議員の先生方におかれましても、与野党の垣根を超えて多数応援に駆けつけていただきました。心から感謝を申し上げます。全国初の取組となる本大会ですが、羽越、奥羽、山陰、中国、四国、東九州といった、新幹線建設を目指す6つの地域の団体が共同で主催しております。

私の地元大分県では、東九州新幹線、四国新幹線、九州横断新幹線と、基本計画路線が3つありますが、この50年にわたり、国において全く動きがない状況です。そこで、「地方の思いを国へ強く訴え、整備計画の策定に向けた機運を高めていくためには、一体どうすればよいか」ということを、全国のお仲間の皆様と様々な議論をまいりました。そして、このような形で「共に声を上げていくことが重要ではないか」という考えに至った次第です。多くの皆様のご尽力で、第1回目となる全国総決起大会が開催できますことを重ねて感謝申し上げます。各団体の会長様をはじめ、ご参集いただきました関係各位の皆様、これからが本番でございます。何卒よろしく御願申し上げます。

こうした機運の高まりとは裏腹に、国の新幹線予算は過去20年にわたり、毎年800億円程度にとどまっております。このままでは、整備新幹線の完

成すら長い年月を要し、基本計画路線の議論も進展しない恐れがあります。このため、昨年7月の全国知事会におきまして、貸付料算定の適正化や国際観光旅客税(出国税)の活用など、新たな財源の確保について提案を申し上げまして、各県からのご賛同をいただき、政府・与党へ全国知事会として要望を行ってまいりました。

折しも、国は昨年11月に、貸付料の議論を行うための有識者委員会を立ち上げました。また、来年度の税制改正においては、国際観光旅客税を引き上げる方針を固めたこと何っております。さらに、昨年末に閣議決定された令和8年度の政府予算案において、幹線鉄道ネットワーク等に関する調査の中に「基本計画路線に係るケーススタディ等を実施する」ことが初めて示され、例年よりも一歩踏み込んだ内容となっているところでございます。

このような動きが見られる今こそ、基本計画路線の整備が「国家プロジェクト」として国民的コンセンサスを得られるよう、政府・国会へ働きかけ、議論の加速を進めていかなければならないと考えております。

皆様方におかれましては、基本計画路線の早期実現に向けて、引き続き力強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私からの開会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 2.主催者挨拶



羽越新幹線建設促進同盟会 会長  
奥羽新幹線建設促進同盟会 会長  
山形県知事 吉村 美栄子  
※ビデオメッセージ

皆様こんにちは。羽越新幹線建設促進同盟会ならびに奥羽新幹線建設促進同盟会の会長を務めております、山形県知事の吉村美栄子です。第1回目の大切なこの決起大会に、リアルでの出席が適わず、大変申し訳ありません。

まずは、発起人の大分県佐藤知事はじめ、今回の総決起大会開催にご尽力いただきました皆様、ご来賓の皆様、お集まりいただいている各地の期成会、同盟会の皆様に、深く感謝申し上げます。

本県を通る新幹線基本計画路線としましては、羽越新幹線と奥羽新幹線の2つがございますが、ご案内のとおり、昭和48年に政府の基本計画に位置付けられて以来、50年以上経過した現時点でも、整備計画への格上げなどの具体的な動きは見られておりません。置き去りにされたままであります。この間、太平洋側を見ますと、東北新幹線が青森まで、北海道新幹線が函館まで延伸し、現在は札幌延伸に向けた整備が進められております。

一方、日本海側はといいますと、太平洋側と比較して、歴然とした整備格差が生じております。東京から山形までは、在来線を走行するミニ新幹線である山形新幹線を利用して、最短でも約2時間半かかります。しかしながら、東京から青森までは、その2倍近い距離があるのにもかかわらず、約3時間で到着できます。速達性の面で大きく差が開いている状況であります。

ビジネスで山形へ行きたくないと言われたとき、私は大変大きなショックを受けました。羽越・奥羽両新幹線の整備が実現すれば、日本海側の対首都圏及び地域間の移動時間が大幅に短縮され、人的

交流の拡大や、地域間の連携が加速し、観光や産業、経済、暮らし、防災の各分野で、地域の発展が期待されます。我が国が将来にわたって持続的に発展していくためには、大規模災害に備えた国土全体のリスク分散やリダンダンシーの確保、また、我が国のポテンシャルを最大限に引き出す日本海・太平洋二面活用型国土の形成や、地方創生の実現に向けた基盤として、速達性と安定性に優れた新幹線ネットワークの整備が不可欠であると考えております。

また、現在本県では、「山形新幹線米沢トンネル(仮称)」整備に向けた取組を進めております。山形新幹線は、在来線を走行するため、雨や雪など自然条件や動物との衝突などによる、運休・遅延が多発しており、これらの課題を解決するため、山形県と福島県の県境の急峻な山岳区間に、全長約23キロメートルのトンネルを整備する計画が米沢トンネルであり、実現すれば、山形新幹線の安定性が格段に向上するとともに、東京から山形まで10分強の時間短縮効果も見込んでおります。山形新幹線の運休・遅延は、福島駅で接続する東北新幹線のダイヤの乱れにもつながりますので、ひいては、全国の新幹線ネットワークの安定性にも影響する課題であります。

さらに、米沢トンネルは時速200km以上の高速走行も可能な線形で整備することとしており、将来の奥羽新幹線実現の足がかりにもなるものと考えております。こうした新幹線ネットワークと一体として機能を発揮する幹線鉄道の機能強化の予算の大幅な拡充についても、政府に対して働きかけていく必要があると考えているところです。

全国どこに住んでも、本社がどこに位置しても、便利ようにする。それが日本列島全体を強く豊かにすることであり、地方創生なのであります。観光立国の実現にも繋がります。そのためには、日本全国を新幹線で結ぶことが必要なのであります。国会議員の先生方、国家ビジョンを掲げて頑張ってください。国土交通省の皆さん頑張ってください。鉄道局の予算を5倍10倍にしていくことも重要であると思います。皆さん、今日の総決起大会を契機に、ともに頑張りましょう。



山陰新幹線建設促進期成同盟会 代表世話人  
中国横断新幹線整備促進協議会 副会長  
鳥取県知事 平井 伸治

皆様こんにちは。雪深い山陰からやってきました。このためにですね、命がけで今日山陰からやってきましたこと、ぜひ皆様にわかっていただきたいと思っております。本日は、石破前総理、そして山本先生、森山先生はじめ、国会の皆様にもこのように駆けつけていただきまして、大きな力を示していただくことに本当に感謝を申し上げたいと思っております。また、先ほど佐藤知事、また吉村知事で話がありましたけれども、その他にも、河野知事や、或いは池田知事、また濱田知事、服部知事はじめ、花角知事等々、多くの仲間の知事達も一緒にやってきました。

なぜか、私たちはですね、半世紀も待たされているんです。私たちは、今の整備新幹線、これを後押ししようということやってきたわけでありまして。そのあとは我々の番だと思ったら一向にやっこない。どころか、今貸付料をどうこうするという議論まで起こっている。貸付料というのは、これは高速道路で言えば、全国プール制の料金のようなものであります。これが仮にうまくいかなってしまうと、この先の新幹線計画はどうなるんだろうか。今重要な時期に差しかかっているわけでありまして。ぜひ、佐々木副大臣はじめ、国土交通省の皆様にも、この我々の危機感を受けとめていただきまして、前へこの新幹線を進めていただければと思います。

私どもでは、山陰新幹線、また、併せまして中国横断新幹線も構想としてございます。昭和48年基本計画ができて以来でございますが、45年からずっと我々この運動をやってきました。今日も舞立議員や、出川議員、藤井議員はじめ、関係の

議員様、また、谷議員や、或いは西田議員、府県を越えて、みんなで集まっていく構想を推進しようとやってきました。でも、1ミリも進んでいない。ということが現実であります。これがあっていいのだろうかということです。

中国あるいは韓国、ヨーロッパ見てください。どんどん高速道路網が高速鉄道網ができています。それが世界の現実なのに、本来の新幹線のお家元であった、この日本が取り残されて半世紀も変わらない。これは異常事態であります。ぜひ、今、我々は眠れる獅子から蘇る必要があるのではないかと思います。

鳥取県はですね新幹線を待ちくたびました。待っても待ってもなかなか高速鉄道やっこないもんですから、梨の新品種ができたときに、とりえず「新甘泉(しんかんせん)」と名前をつけました。転がす早いです。味は超特急です。ぜひ皆様召し上がっていただきたいと思っております。また、新しい新品種が生まれたんですね。石破総理時代に召し上がっていただいた「鳥園L」という、これその当時の総理が「これは美味しいな」と言っていたかまして、「早く世の中に出した方がいい」というふうになら、今私プレッシャーを受けてるんですけども。鳥園Lでありますので、次はリニアと名付けようかなと思っております。

そんなわけで、ぜひですねこんな我々の切実な夢、叶えていただきたい。我々も一生懸命やります。放っておくわけがありません。地元も頑張りますので、国交省、そして国会議員の先生方、よろしくお願ひ申し上げたいと思っております。頑張りましょう。



四国新幹線整備促進期成会 会長  
四国経済連合会会長 長井 啓介

四国新幹線整備促進期成会会長の長井でございます。本日は、かくも大勢の関係者の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。国会議員の先生方、選挙が控える大変お忙しい中、ありがとうございます。

さて、本日の総決起大会は、半世紀を超えて、進展がなかった私ども基本計画路線の現状を打破し、新幹線の早期実現に向けた歴史的な一歩、大きな転換点にしたいという強い思い、決意から開催するものであります。

折しも、来年度の政府予算案には、基本計画路線から選定した路線を対象に、整備、運行手法などを検討するケーススタディを実施することが初めて盛り込まれました。国が基本計画路線の実現に向けた取組をいよいよ本格化させる兆しが見えてまいりました。今回の全国総決起大会が、こうした動きを後押しし、加速させることを心より期待しております。

中でも、新幹線の整備予算が年間わずか800億円程度にとどまり、現行の予算額や財源スキームのままでは、私ども基本計画路線の実現がいつのことになるのか全く見通せないことは、各路線に共通する課題であります。この課題解決に向け、ここにお集まりいただきました皆さん、あるいは、国会議員の先生方のリーダーシップのもとで、前向きな議論が始まることを切に願っております。

さてここで、私ども四国の状況についてご紹介させていただきたいと思っております。四国は、全国の地方ブロックの中で唯一、新幹線が整備されておらず、具体的な整備計画すらない、取り残された地域となっております。皆さまご承知の通り、新幹

線の整備効果がいかに絶大であるかは、先行して整備が進む九州・北陸を見れば一目瞭然であります。観光客、ビジネス客が増加し、新たな投資を呼び込む。また、税収も増え、良い循環を生み出し、街の雰囲気まで明るく一変させています。

一方で、新幹線のない四国。地域間競争を考えたときに、このハンディキャップは、余りにも大きいと言わざるを得ません。この理不尽な状況を何とか打破したい、そうした思いから、四国4県、そして経済界などが心をつなげて、「四国新幹線整備促進期成会」を10年前に立ち上げ、今年はちょうど区切りの年となります。その間、東京での決起大会を7回開催し、延べ約4000名が参加しました。さらに、昨年は45万2千筆もの多くの署名を集め、政府与党にもお届けしました。新幹線実現に向けた四国の熱量、思いは、この上なく高まっているところでもあります。また、こうした思いは、国にも強く受けとめていただいていると固く信じております。

また四国は、南海トラフ地震のリスクも抱えております。ひとたび発生すれば、四国内の在来線は甚大な被害を受け、復旧に数年単位の長期を要することが予想されます。南海トラフ地震に備えるためにも、災害に極めて強いフル規格による新幹線を1日も早く、整備していただきたいと思っております。

本日は、志を同じくする全国の基本計画路線の皆さんが一堂に会し、四国の期成会とともに決意を新たにし、私どもとしても大変心強く感じております。一致団結して、私どもの強い思いを国に政府に届けようではありませんか。



東九州新幹線鉄道建設促進期成会 会長  
宮崎県知事 河野 俊嗣

ご紹介いただきました宮崎県知事の河野でございます。全国から志を同じくするこれだけ多くの皆様にお集まりいただき、第1回目の総決起大会が開催できますこと、大変心強く思います。発起人を務めていただいた佐藤知事をはじめ、ご賛同いただいたすべての関係者の皆様、そして佐々木国土交通副大臣、また、力強く応援をいただいている国会議員の先生方に心から感謝申し上げます。

昨日から日本海側は記録的な大雪ということで、新幹線は皆にも強いんだと思いますし、青森県や鳥取県で大きな地震が発生しましたが、地震にも強い。災害列島日本において、この新幹線の重要性を改めて感じるところでございます。

昨年が、山陽新幹線が博多まで開通をしてちょうど50年という年でありました。今年は、九州新幹線が鹿児島まで全線開通して15年という節目を迎えますが、九州においても開通による人口、それから産業の集積には大きな効果がございます。

時間短縮効果も大きなものがあります。今日、鹿児島県選出の森山先生がおいでですが、鹿児島を朝6時に出発して、九州の東側の日豊本線を宮崎、大分と回って小倉に向かうと6時間ぐらいかかるんですね。同じ時間で、九州新幹線を使うとその間に東京まで辿り着いている。凄まじい時間短縮の格差というものが生じております。

東海道新幹線、我が国に初めて新幹線ができたのが1964年、東京オリンピックの年、私が生まれた年ということで非常に思い出もあるんですが、それ以降、東京オリンピックは2回目が開催され、大阪万博に至っても2回目が開催されました。

そのような状況の中で、新幹線というものは世界に誇る高速鉄道網として、輸出もされているにもかかわらず、国内の計画がこのような形で止まっているのか。やはり世界のモデルとなるような新幹線でありますので、次なる基本計画路線をしっかりと整備することが、まさに世界のモデルとなるのではないかと。技術開発、そして財源の確保を進めながら、やはり我々の夢をしっかりと実現するために歩んでいきたいと思っております。

全国の新幹線整備の効果は本当に凄まじいものがあるなと改めて思います。政令指定都市をはじめ、人口集積都市が全国にどのように配置されているか、皆さんの頭に日本地図を浮かべていただくと、やはり東京から福岡に至るまでのいわゆる「太平洋ベルト地帯」にぐっと集積していますし、それ以外のところでは、これから結びつく札幌を除けば、仙台、新潟、そして、熊本というところになります。新幹線の効果というのは本当に大きいものがあるかと思っております。

様々な課題がございますが、ぜひ皆様とともに、新たな財源の確保についてもしっかりと国民の理解を得ながら、夢の実現に向かって進んでまいりたいと考えております。

今日が、その一歩となることを祈念しながら、本日もご参加いただいた、そしてこれから力を合わせていく皆様への感謝のご挨拶とさせていただきます。頑張ってください。

### 3. 来賓挨拶



自由民主党 整備新幹線等鉄道調査会 会長  
衆議院議員 稲田 朋美  
(福井1区/自由民主党)  
※ビデオメッセージ

皆さん、おはようございます。全国初となる第1回新幹線基本計画路線全国総決起大会が東京で盛大に開催されますこと、心より喜び申し上げます。発起人である大分県の佐藤知事をはじめ、各地域の代表の皆様、そして、本日は、国会開会の前日にもかかわらず、与野党の垣根を越えて、大変多くの先生方が応援に駆けつけておられる、非常にすばらしい大会になっていること存じます。都合により、会場皆さんの熱気を感じることができないのが残念でなりません。

私は、福井1区選出の衆議院議員で、一昨年、半世紀のときを経て、ようやく敦賀まで北陸新幹線が開業できたところです。福井まで新幹線が来て、本当に世界が変わりました。観光、経済、いろんな全国大会が開催されて、全く違う世界が広がりました。私も今年で国会議員になって21年目になりますが、その間、最も取り組んできたのが、北陸新幹線の延伸、福井開業です。

そして今、敦賀、小浜、大阪の早期認可着工に向け取り組んでいます。かつては、新幹線自体が無駄の象徴のように言われた時代もありました。しかし、決して無駄ではなく、いろんな経済効果があり、JRも過去最高の収益を更新しておられます。こうした実績から、新幹線整備はB/Cが高いこと、明らかです。私が政調会長るとき、鉄道調査会長になり、与党PTの座長にもなり、幹線鉄道ネットワーク等の調査費をつけ、基本計画路線も対象としました。また、観光立国調査会でも、国際観光旅客税の引き上げの際に、交通ネットワークにも使えるよう提言に盛り込んでいます。

一つひとつ成果を積み上げていますが、まだまだ遅い。私自身、怒りで頭いっぱいなり、いつも叫んでいます。お隣の中国は、すでに4万8000kmの新幹線を建設し、この15年間で6倍に伸びている一方で、日本は50年にわたって、わずか3000kmという状況。一体どうなってるんだ!

そもそも鉄道というのは、明治の先人が開いてくれた、日本が世界に誇る技術です。当時の財務次官である大隈重信と局長の伊藤博文が、政府がお金を出してくれなくて、海外から借りて、海を埋め立てて、なんと2年間で新橋から横浜まで作ったんです。薩摩藩がやってくれなくて、海を埋め立てて、しかも全国で反対運動が起きて、毎晩暗殺の恐怖で飲んだくれながら、横浜まで作ったんです皆さん。その気概を取り戻そうじゃないですか。

東海道新幹線も1964年のオリンピックに間に合わせるべく5年目で、5年で作ったんですよ。北陸新幹線も、皆さん方の基本路線も一体どれだけの期間をかけて何をやってるんだ!

本日出席と伺っております石破前総理が提唱してこられた「令和の列島改造論」。これは基本路線も含めて、全国の高速鉄道網を造ることなんです。そして、高市内閣の「責任ある積極財政」。危機管理投資の一つである国土強靱化を実現していくためにも、全国の新幹線ネットワーク整備は必要なんです。整備新幹線が終わらなければ基本路線は始まらない?基本路線をやってしまうと、整備新幹線の予算がない?国土交通省は何言っているんですか!

二項対立ではないんです。一緒にやるんですよ。整備新幹線も基本計画路線も一緒に進めていかなければなりません。一歩ずつ確実に歩みを進めて、まずは法定調査を早く実施する。そしてまた一歩進んで、次の目標に向かって、一緒に頑張っていこうじゃありませんか。私からの誓いとお祝いの言葉といたします。ありがとうございます。



国土交通省 国土交通副大臣  
衆議院議員 佐々木 紀  
(石川2区/自由民主党)

皆様こんにちは。国土交通副大臣を拜命しております石川2区選出の衆議院議員の佐々木でございます。稲田先生のご挨拶の迫力にちょっと押され気味でございますけれども、本日は新幹線基本計画路線全国総決起大会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

まずはじめに、本日ご臨席の各地域選出の国会議員の先生方、そして、各基本計画路線の同盟会、期成会等の沿線地域の皆様方、そして、本日ご列席の全国からお越しの皆様、日頃は国土交通行政、並びに、鉄道行政に、多大なるご理解とご尽力をいただいておりますこと、まずは御礼を申し上げます。

今ほどお話しとおおり、新幹線は1964年の東京オリンピックの年に、東京・新大阪間が開業して以来、60年にわたって、そのネットワークを拡大してまいりました。我が国の経済や国民の生活を支えてきておまして、今や1日約105万人、年間

約3.8億人の輸送を担っているところでございます。新幹線ネットワークは地域相互の交流を促進し、観光振興や企業立地など、地方創生に重要な役割を果たしているとともに、災害時の代替輸送ルートの確保など、国土強靱化の観点からも、大変重要だと認識しているところでございます。

こうした重要性に鑑みて、まずは、北海道、北陸、西九州の各整備計画路線の確実な整備に目途を立てることを最優先の課題としながら取組を進めているところでございますけれども、基本計画路線の整備についても、全国各地からご要望をいただいているところでございます。

本日お集まりの各同盟会、期成会等の沿線地域の皆様方におかれても、それぞれの地域で様々な検討や議論を行っていただいております。こうした基本計画路線の全国大会は、今回が初めての開催ということでございますので、ご出席の皆様のご熱意や盛り上がり、私も実感をしていところでございます。

国土交通省としては、基本計画路線を含む幹線鉄道ネットワークについて、様々な調査を行ってきたところでございますけれども、地域の実情を踏まえ、方向性も含めた検討を行うため、高機能化に係る技術的課題の整理やケーススタディ等、更なる取組を進めてまいりたいと思います。

本日お集まりの皆様のご活躍ご健勝をご祈念するとともに、国土交通行政、鉄道行政の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。おめでとうございます。



## 4. 来賓紹介 各地域選出の国会議員の皆様



衆議院議員 石破 茂  
(鳥取1区 / 自由民主党)  
山陰・中国横断地域を代表してご挨拶



参議院議員 山本 順三  
(愛媛 / 自由民主党)  
四国地域を代表してご挨拶



衆議院議員 森山 裕  
(鹿児島4区 / 自由民主党)  
東九州地域を代表してご挨拶



衆議院議員 長谷川 淳二  
(愛媛3区 / 自由民主党)



衆議院議員 仁木 博文  
(徳島1区 / 自由民主党)



衆議院議員 吉田 元  
(比例九州 / 立憲民主党)



参議院議員 加田 裕之  
(兵庫 / 自由民主党)



衆議院議員 川内 博史  
(鹿児島1区 / 立憲民主党)



参議院議員 小林 孝一郎  
(岡山 / 自由民主党)



参議院議員 出川 桃子  
(鳥取・島根 / 自由民主党)



参議院議員 原田 秀一  
(香川 / 国民民主党)



衆議院議員 白石 洋一  
(愛媛2区 / 立憲民主党)



参議院議員 広田 一  
(徳島・高知 / 無所属)



参議院議員 吉田 忠智  
(大分 / 立憲民主党)



参議院議員 谷合 正明  
(比例 / 公明党)



衆議院議員 岩屋 毅  
(大分3区 / 自由民主党)



参議院議員 西田 昌司  
(京都 / 自由民主党)



衆議院議員 平井 卓也  
(比例四国 / 自由民主党)



参議院議員 磯崎 仁彦  
(香川 / 自由民主党)



衆議院議員 宮内 秀樹  
(福岡4区 / 自由民主党)



参議院議員 舞立 昇治  
(比例 / 自由民主党)



参議院議員 森 裕子  
(比例 / 立憲民主党)

### 省庁幹部等の皆様



参議院議員 福山 守  
(比例 / 自由民主党)



参議院議員 古庄 玄知  
(大分 / 自由民主党)



参議院議員 梶原 大介  
(比例 / 自由民主党)



参議院議員 藤井 一博  
(比例 / 自由民主党)



国土交通省 鉄道局  
次長 小林 太郎



国土交通省 鉄道局  
幹線鉄道課長 輕部 努



総務省 自治財政局  
官房審議官 橋本 憲次郎



(独)鉄道建設  
運輸施設整備支援機構  
理事長 藤田 耕三

## 5.各県知事挨拶



羽越新幹線建設促進同盟会 副会長  
新潟県知事 花角 英世

新潟県知事の花角でございます。新潟、そして山形、秋田、青森、日本海側を縦貫いたします羽越新幹線。これは日本海側の国土軸を形成するものなんです。太平洋側と並んで、日本海側も国土軸をつくる。こういうことは、災害に強い、国土づくりの上でも大変重要だと思っております。

新潟県として、しっかり全国の皆さんと連携しながら、粘り強く、この実現に向けて取り組んでまいりたいと思います。一緒に頑張りましょう。ありがとうございます。

## 新幹線基本計画路線 全国総決起大会



花角知事のご発声により会場に集まった約500名の関係者でガンバロウ三唱を実施



四国新幹線整備促進期成会 副会長  
香川県知事 池田 豊人

皆さん、おはようございます。今日、全国から新幹線の基本計画路線を進めようという、同志の皆さんにお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。また、国会議員の先生方もたくさんご出席いただき、大変な応援をいただきまして誠にありがとうございます。

今、経済、物価高や、人手不足で大変な状況ではありますけれども、全体的には、失われた30年から大きく伸びる時代になってきました。これを伸

ばしていくためには、地方が活躍できないと伸びません。地方の力は、ものづくりであり、農業の生産であります。これをまた選ぶのは、定住する人です。この定住する人には新幹線が不可欠であります。どうしてもこの新幹線を皆さんの力で引っ張って、地方に人が住んで、モノを作って、経済を発展させる。こういう日本を皆さんと一緒につくってまいりたいと思います。

ケーススタディを活かして、今年は何とんでも法定調査、これを皆さんと一緒に勝ち取りたいと思いますので、どうかよろしくお願いします。



四国新幹線整備促進期成会 副会長  
高知県知事 濱田 省司

高知県知事の濱田でございます。高知県は全国に先行して少子高齢化、人口減少が進んでおります。そうした中で、観光の誘客、企業誘致などを通じて、定住人口、そして交流人口の拡大を図りたいと必死に取り組んでおります。

四国は唯一全国で新幹線空白地帯であり、同じスタートラインに立って、地域間の競争に臨めるように、新幹線の1日も早い開通をお願いしております。

また、高知は南海トラフ地震が切迫しております。先の昭和の南海大地震から80年が経ちました。概ね100年に1回の間隔で地震が起きておりますので、いつ起きてもおかしくないという状況であります。ところが今、瀬戸内側から太平洋側に移ります四国山地を走っております在来線は大正末期、あるいは昭和初期からのディーゼル路線の土讃線だけということございまして、1日も早く、基本計画路線として四国新幹線を通していただいで、南海トラフ地震に備えたい。そんな思いでいっぱいでございます。

皆様、心を合わせて、心一つにして、新しいスキームの中で1日も早く基本計画路線が開通いたしますように、力を合わせて頑張ってください。よろしくお祈りいたします。



東九州新幹線鉄道建設促進期成会 副会長  
福岡県知事 服部 誠太郎

皆さんおはようございます。福岡県知事の服部誠太郎でございます。先ほどから半世紀待たされた怒りというお話がございました。我々も昭和46年から、福岡、大分、宮崎、鹿児島県の4県と北九州市4県1市で、建設促進期成会を立ち上げまして、福岡市から北九州市、大分市、宮崎市を経由して、鹿児島市に至る、いわゆる日豊本線ルートでの東九州新幹線の実現を目指して、活動を続けてまいりました。しかし、全く動いておりません。

この東九州新幹線が実現できれば、九州島内における循環型ネットワークが完成し、九州の東部エリアのみならず、九州全体のさらなる浮揚・発展が期待できます。私も福岡県といたしましても現在、この新幹線による経済波及効果について、独自の調査を進めておりまして、年度内にはそれを取りまとめたいと考えておるところでございます。

また、先ほど稲田先生も仰っておりましたように、最近、激甚化・頻発化いたしております大規模災害時におけるリダンダンシーの確保という点からも極めて重要なものがございます。

いずれにいたしましても、全国の基本計画路線を整備計画路線に格上げしていくためには、我々地方の熱意を強力に示していくことが必要でございます。皆さん、共に頑張ってください。よろしくお祈りいたします。

## 6. 共催者挨拶



山陰縦貫超高速鉄道整備推進市町村会議 会長  
鳥取市長 深澤 義彦

ご紹介に預かりました、52自治体で構成されております、山陰縦貫超高速鉄道整備推進市町村会議の会長を務めさせていただいております、鳥取市長の深澤でございます。ご案内のように、山陰新幹線は昭和48年に基本計画が閣議決定されて以来、現在まで約半世紀、具体的な進展がない状況にあります。

現在整備が進められております北陸新幹線との関係で申し上げますと、この山陰新幹線との適

切な接続によりまして、我が国の成長戦略、また、国土強靱化に必要不可欠な、北陸から九州までの日本海国土軸が形成をされるということになります。

今月6日に発生をいたしました鳥根県東部を震源とする地震、また昨今の激甚化・頻発化する自然災害、そして、南海トラフ地震など大規模災害が危惧される中で、リダンダンシー確保の観点からも、この日本海国土軸の形成は、我が国全体にとって、必要不可欠な、重要な、そういった役割を担うものとなります。

本日のこの会を契機といたしまして、現在、基本計画路線の実現化に向けて、より一層、機運を高め、そして皆さんと団結をして、これから頑張ってまいりたいと、このように考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。ありがとうございます。



中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議 会長  
松江市長 上定 昭仁

中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議の会長を務めております、鳥根県松江市長の上定でございます。中国横断新幹線(伯備新幹線)が基本計画路線に認定されたのは私が0歳のとき。今53歳となりましたが、残念ながら新幹線整備は1ミリも動いておらず、これから大きく育んでいかなければなりません。

先程、深澤・鳥取市長からもありましたとおり、1月6日に鳥根県東部を震源とする最大震度5強の

地震が起きました。南海トラフ地震の発生も想定される中であって、リダンダンシーの確保、国土強靱化の観点から、災害に強い新幹線整備が必要なのは論をまちません。

また、私たちの地域は、今放送されているNHKの連続テレビ小説「ばけげん」の舞台として注目を集めています。新幹線整備によって、私たちの地域は、さらに大きく「化けて」「いける」と確信しております。是非とも皆様のお力添えをお願いいたします。共に頑張ってまいりましょう。ありがとうございます。



香川県市町長四国新幹線整備促進期成会 会長  
高松市長 大西 秀人

皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました香川県市町長四国新幹線整備促進期成会の会長を務めております高松市長の大西でございます。私から1点だけ、瀬戸内海を超えるのはどうするんだという話が結構ありますが、38年

前の昭和63年に供用開始になりました瀬戸大橋は、もちろん車と鉄道の並用橋でございます、その鉄道部分は在来線と並行して、フル規格の新幹線がちゃんと複線で通れるよう建設されているということでございます。何ら新幹線が四国に行くのに、大きな問題はないということでございます。

ぜひとも一緒になって、この瀬戸大橋に新幹線を通していただきたい。それが先人たちの我々世代に託した夢であると思っております。我々の責任として、それを一歩でも二歩でも進めていかなければならない、と思っておりますので、ご来場の皆様方とともに、この基本計画路線を、直ちに整備計画へ向けて結びつけられるように、是非ともよろしくお願いたします。一緒になって頑張りましょう。



宮崎県鉄道整備促進期成同盟会 会長代理  
宮崎県議会議長 外山 衛

皆さんお疲れ様でございます。宮崎県議会議長の外山衛でございます。宮崎県鉄道整備促進期成同盟会を代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。宮崎はですね、新幹線整備は県民の悲願でございます。産業分野、あるいは観光、そしてまた災害時の減災、すべての部分において、新幹線の整備が待ち望まれております。

この総決起大会を機に、機運がさらに盛り上がり、皆様のご協力も得まして、少しでも早く進捗しますことを、お願い申し上げまして、簡単でございますがご挨拶といたします。どうぞよろしくお願申し上げます。



大分県東九州新幹線整備促進期成会 会長代理  
大分県議会議長 嶋 幸一

大分県議会議長の嶋幸一でございます。この決起大会の共催者として、一言ご挨拶を申し上げますが、内容については、既にこれまで皆さん方が仰ったとおりでございます。基本計画路線の整備計画路線への格上げは、私ども大分県、東九州はもちろんですが、地方全体の悲願であります。

本日ご参加いただいた全国の仲間たちで一致結束、一致団結して、国に対して、共に強く訴えてまいりましょう。ありがとうございます。

## 大会決議

- 1 二十一世紀半ばにおける我が国の高速輸送体系のあるべき姿を示すとともに、新幹線ネットワークの地方への拡充を国家プロジェクトとして明確に位置づけること
- 2 整備計画路線の未着工区間の見直しをつけることと並行して、基本計画路線に係る法定調査を早期に実施し、整備計画路線へ格上げすること
- 3 「着工5条件」の投資効果(B/C)について、社会的割引率を現行の4%から実態に即して見直すとともに、現在反映されていない誘発需要の創出効果や防災・減災効果等を適正に評価できる手法への見直しを早急に行うこと
- 4 将来的な新幹線整備に向けて、貸付料の徴収期間の延長や算定方法の適正化などの見直しを進めるとともに、新たな財源（国際観光旅客税、国土強靱化実施中期計画に係る予算など）の活用も含めた新幹線整備予算及び新幹線ネットワークと一体的に機能を発揮する幹線鉄道の高機能化予算の大幅な拡充を図ること
- 5 新幹線整備費用の縮減や並行在来線の経営分離方式の見直しを図るとともに、地方債の充当率や交付税措置率の引き上げなど、地方公共団体の財政負担の軽減を図ること
- 6 骨太の方針2026に「所要の財源を確保し、基本計画路線の建設に関し必要な調査を早期に実施するとともに、2020年代に整備計画路線への格上げを図る。」との文言を盛り込み、確実な進展を図ること

## 第1回新幹線基本計画路線 全国総決起大会



令和8年1月22日 第1回新幹線基本計画路線全国総決起大会

大会発起人(大分県知事) 佐藤樹一郎

主 催

羽越新幹線建設促進同盟会 会長(山形県知事) 吉村美栄子  
 奥羽新幹線建設促進同盟会 会長(山形県知事) 吉村美栄子  
 山陰新幹線建設促進期成同盟会 代表世話人(鳥取県知事) 平井 伸治  
 中国横断新幹線整備促進協議会 会長(岡山県知事) 伊原木隆太  
 四国新幹線整備促進期成会 会長(四国経済連合会会長) 長井 啓介  
 東九州新幹線鉄道建設促進期成会 会長(宮崎県知事) 河野 俊嗣

共 催

山陰縦貫超高速鉄道整備推進市町村会議 会長(鳥取市長) 深澤 義彦  
 中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議 会長(松江市長) 上定 昭仁  
 香川県市町長四国新幹線整備促進期成会 会長(高松市長) 大西 秀人  
 宮崎県鉄道整備促進期成同盟会 会長(宮崎県知事) 河野 俊嗣  
 大分県東九州新幹線整備推進期成会 会長(大分県知事) 佐藤樹一郎

### 大会事務局

大分県企画振興部交通政策局交通政策企画課

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号

TEL 097-506-2155 FAX 097-506-1731

